

## 事業所における自己評価結果

事業所名： ぽかぽかホームえがお

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		必要のない物はフロアに置かない。	
	②	職員の配置数は適切である	5		手がかかる児童が多い日は、早めに人数配置を多く取っておく。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		5		玄関に段差がありスロープや手すり等がないため、利用者の特性に合わせて改善する必要がある。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5		毎日 MT や毎週のスタッフ MT にて、業務改善の PDCA を行っている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		アンケート結果を全職員で共有し、業務改善につなげる MT を行っている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		事業所に紙媒体を掲示している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5		今回が初めてだったため、今後行っていく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		他事業所への訪問研修等を行っている。	
適切	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		半年に一度、各保護者と懇談を行い計画を作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			

な 支 援 の 提 供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		子どもの特性に合わせてプログラムを決めるために日々MTを行っている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		毎日必ず違う活動を行うように心がけている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		毎朝 MT 時に、支援内容を担当よりスタッフ全員に伝えている。担当の職員は活動計画書を作成して全職員に配布する。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		子ども達の一日の様子や送迎時の保護者からの相談事を共有するために、支援終了後に必ず MT を行っている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		活動の反省や各児童の様子を記録に残している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5		半年に一度モニタリングを行い個別支援計画を見直している。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	5			
関 係 機 関	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		ケース会議に児童発達支援管理責任者が参画している。	

や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5		その都度、必要と判断した時に 行っている。	
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5		現在、主治医と連携を必要とされる児童の受け入れがない。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5		必要に応じて電話連絡をさせて頂き、情報共有に努めている。	
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		5		今まではなかったが、今後必要があれば連携していく。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		事業所で解決が難しいと判断した時に、相談支援事業所に電話をして連携を取っている。	
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5		コロナ禍が落ちつけば、交流会のイベントも考えていきたい。
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		5		コロナ禍が落ちつけば、協議会へ参加していきたい。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		連絡帳や送迎時を通して、毎日情報共有している。	
保護者への	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5			
	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		契約時に説明を行っている。	
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		5		コロナ禍が落ちつけば、父母会の開催も考えていきたい。
	㉜					

説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		苦情解決の流れを職員間で決定している。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		月一回お便りを出したり、定期的にInstagramを発信したりしている。	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	5			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5		コロナ禍が落ちつけば、地域の方との交流も考えていきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		半年に一度、避難訓練等を行っている。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		5		研修等ができていないため、今後はやっていきたい。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		MT で常に情報を共有し、事故防止、予防に努めている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。